１人１台端末導入・教育の情報化
教諭に求められるICTスキル　チェックリスト

旭川市立末広北小学校　教務　石本周司

１　校務

□Google　Classroom　の開設，運用，削除
□Googleスプレッドシートの活用（関数，グラフ，Googleフォームとの併用，共有）
□Googleドキュメントの活用（共有）
□Googleスライドの活用（共有）
□Googleフォームの作成，運用（スプレッドシートとの併用，共有）
□GoogleJamboardの活用（共有）
□GoogleMeetの活用
□Googleカレンダーの活用（csvのインポートやエクスポート，共有）
□Googleマップの活用（マイマップ）
□Google連絡先の活用（インポート，エクスポート，ラベル）
□GoogleKeepの活用（タスク管理，カレンダーとの併用）
□Googleドライブの活用（データ整理）
□Googleサイトの活用（ウェブページの作成，htmlの理解）
□YouTubeの活用（限定公開，YouTubelive）

□Zoomの活用（画面共有，ブレイクアウトルーム）

□オンライン会議の参加（バーチャル背景，プレゼン方法の工夫，クロマキー合成，スイッチャーの活用）

□Windowsの基本操作
□Microsoft　Officeの基本操作
□Excelの基本操作（関数，フィルター，入力規則，保護）
□ジャストシステムー太郎の基本操作
□メールの送受信（CC，BCC，添付，文面のマナー）
□ファイルの圧縮，展開，暗号化（zip，rar，アタッシェケース）
□画像（写真・イラスト）の加工，編集
□動画の加工，編集
□クラウドの活用（iCloud，OneDrive，Googleドライブ，Dropbox）

□校務支援ソフトの活用（スズキ校務など）

２　授業

□授業支援アプリの活用
（ロイロノート・スクール，スクールタクト，ミライシード，MetaMoJi ClassRoom等）
□授業用端末の基本操作（iPad，chromebook，Windowsタブレット，Androidタブレット）
□デジタル教科書の活用
□学習用端末のデータ整理（紙ノートとの区別，eポートフォリオ）

□使用上のルール（デジタルシティズンシップの観点）
□プログラミング教育の理解（プラグド教材，アンプラグド教材）
□オンライン授業の実施（ハイブリッド型含む，Open Broadcaster Software，スイッチャー等の活用）

３　基礎知識

□情報セキュリティポリシー
□学校教育と著作権（著作権法35条）
□肖像権
□授業目的公衆送信補償金制度（SARTRAS）
□「改正著作権法第３５条運用指針（令和3（2021）年度版）」の初等中等教育における特別活動に関する追補版
□リスクマネジメント（無料アプリのバナー，各種権利の侵害，ウイルス対策，マルウェア対策）

↑をふまえた，出前講座の具体化

４　講座メニューの柱（１～３より）

①　端末の操作，OS
②　Google，Microsoft Teams　による共同編集
③　授業支援アプリの活用（ミライシード，ロイロノートスクール）
④　プログラミング教育（プラグド，アンプラグド）
⑤　動画配信（オンライン，オンデマンド授業の構成）

大きくはこの5つにカテゴライズでき，それぞれに初中上級の内容になるかと思います。
特に重視するのは，③です。
③を基本に他のメニューを絡めていくのが，明日からの実践につながりますので，１０分程度のミニ模擬授業を複数回取り入れながら，進めていきたいと思います。

講座修了後，フリーな時間がありますので，個別にご質問いただくこともできます。

５　授業上のプチ・テクニック

・Jamboard背景の変換（出席番号・思考ツール）
・スプレッドシートでパパッとアンケート
・Jamboardですごろく（またはビンゴ）→学習のまとめに
・デジタルノートの第一歩「ハッシュタグ」「ラベル」
・Googleフォームからテキストマイニング　※ワードクラウド
・Mentimeterでアンケート
・ロイロノートスクールを，自分専用の教材置き場に
　↑別の授業支援アプリでも，思考ツールの画像をスクショして配付など
・早押しボタンオンライン　https://btn.anyfrog.net/
・シンプルにホワイトボードの代わりに（学習クイズ，へんなかんじ）

６　出前講座コース組み立て例

A（初級）※3基礎知識の概要を先に説明
※デジタルシティズンシップの観点から，学習者によるルール作りを紹介
※オンライン授業の分類や技術的な紹介も行う

①　ICT3つの学習類型の確認
・一斉（アイスブレイク的に　インパクトのある導入を）
・個別（AIドリル・個別最適化→自分のデータに関心をもたせる）
・協働（3密を回避しながら）

ぱっと思いつく動物

②　授業支援アプリで課題の配付と回収（これを基本とする）
【例】 朝鮮半島の白地図を配付
回収
GoogleEarthで調べ学習
発見をJamboardで共有（思考ツールの活用も紹介）
先生から知的好奇心をくすぐる仕掛け
※地名がでたら必ずチェック！

③　一つの課題について，小グループで協働学習
【例】 現代アート　本物はどっち？

現代アート

④　端末をホワイトボードに
【例】 勉強クイズ　先生の問題に自分の端末に答えを書く
※早押しボタンオンラインも紹介

⑤　リフレクション

リフレクション.pdf

⑥　質問タイム

B（中級）　※3基礎知識の概要を先に説明
※デジタルシティズンシップの観点から，学習者によるルール作りを紹介
※オンライン授業の分類や技術的な紹介も行う

①　ICT3つの学習類型の確認
・一斉（アイスブレイク的に　インパクトのある導入を）
・個別（AIドリル・個別最適化→自分のデータに関心をもたせる）

・協働（3密を回避しながら）

ぱっと思いつく動物

② Jamboardで協働
【例】 背景の変換（出席番号・思考ツール）
おいしいお店の書き出し→整理→分類→視点の変化

おいしいお店♥

③ Jamboardで楽しい学習のまとめ
【例】 すごろくやビンゴ（最後にはみんなで遊んで終わる）

すごろく.xlsx

④ デジタルノートの第一歩
【例】 ハッシュタグやラベルでデータの管理

⑤ テキストの可視化
【例】 テキストマイニング
Googleフォームとの連携

⑥ リフレクション

リフレクション.pdf

⑦ 質問タイム

C（上級） ※3基礎知識の概要を先に説明
※デジタルシティズンシップの観点から，学習者によるルール作りを紹介
※オンライン授業の分類や技術的な紹介も行う

・一斉（アイスブレイク的に インパクトのある導入を）
・個別（AIドリル・個別最適化→自分のデータに関心をもたせる）
・協働（3密を回避しながら）

ぱっと思いつく動物

② スプレッドシートでパパッとアンケート
【例】 アンケートデータの共有と日常化（いつでも使う 気軽に使う とにかく使う）

パパッとアンケート！.xlsx

③ ↑からのテキストの可視化
【例】 テキストマイニング

AIテキストマイニング

④ Mentimeterとの違い
【例】 道徳「本当の友情とは？」 ビフォーアフターの違い

https://www.menti.com/1ibxnwuy5z

⑤ デジタルノートの作成
【例】 ハッシュタグやラベルでデータの管理，紙ノートとの併用

⑥ リフレクション

リフレクション.pdf

⑦ 質問タイム